

新型コロナウイルス感染予防対策について

中央製袋株式会社では、新型コロナ感染予防対策として、社員とその家族ならびにお取引様の安全を考慮して、代表取締役社長を本部長とする対策本部を設置し、以下の対策を行っております。

手洗い



1

工場内に入場する際には、必ず自動手洗による手洗いを20秒丁寧に行い、その後、自動消毒器で手の消毒を行ってから入場します。

朝礼



2

朝の朝礼では、従来ラジオ体操を実施した後、集合していましたが、ラジオ体操の体型のままマイクにて朝礼を行い、そのマイクは毎回除菌しています。

工場の勤務体制



3

工場の勤務体制を2班に分けて、万が一感染者が発生しても、どちらかの班で生産ができるような体制をとっています。※昼食も2班に分けて、充分ソーシャルディスタンスを取ったうえで食事するように指示しています。

マスク着用



4

全社員に対して、マスク着用を基本とし、咳エチケットを徹底するよう指導しています。

十分な換気



5

会議や接客中の換気を充分にとるため、窓やドアを開放して風通しにつとめています。

消毒液を配置



6

社内のいたるところに消毒液を配置し、外出後や共用物に接触した後は、必ず消毒するよう指示しています。

非接触体温計



7

来客には、非接触体温計で体温を測っていただき、37度以上の熱がある方は、来社を遠慮していただいています。

コロナバリアー



8

玄関のカウンターには、弊社商品の「コロナバリアー」を配置し、飛沫感染防止に役立てています。

検温一覧表



9

全社員に対し、毎朝体温を測っていただくことを義務化し、一覧表に記入させています。※もし、検温時に37.5度以上ある場合は、自宅待機としています。

メール・FAX WEB会議



10

営業部員は、できる限り得意先への訪問を避け、メール・FAXなどのやり取りで商談を完結するように指導しています。また、WEB会議などを活用したリモートでの開催を推奨しています。

ストレス解消



11

長引くコロナ対策に対して、心身の異常をきたさないとも限らないので、上司や産業保健スタッフが窓口になり、相談に乗っています。また、自宅でのストレス解消法の紹介や万が一感染者との接触が心配されるような場面でも、うろたえることなく専門家への相談窓口を通して、落ち着いて対処できるような体制をとっています。

感染防止の意識



12

朝礼や社内報でのトップの情報発信として、近隣の感染者情報や同居のご家族を含めた注意喚起などを、こまめに行うことで、感染防止の意識を高めています。